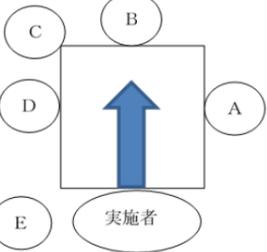


時	1	2	3	4	5	6	7	8
目標	<p>【知識及び技能】 開脚前転の行い方を知るとともに、基本的な技をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 開脚前転の基本的な行い方を工夫するとともに、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 開脚前転に進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p>							
コア技術	回転加速をつけている。							
めあて	滑らかな「前転」ができるように友だちと練習しよう。	勢いのある「前転」ができるようになる。	易しい場で開脚して起き上がろう。	「開脚」した後できるだけ「膝を伸ばして」起き上がろう。	赤白帽をできるだけ前に飛ばすにはどうすればいいかを考えて取り組もう。	赤白帽をできるだけ遠くに飛ばすにはどうすればいいかを考えて取り組もう。	足がマットに着く直前で開く「開脚前転」に挑戦しよう。	友だちの良いところやがんばったら良くなることを伝えよう。
指導内容	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. スモールステップ①前転</p> <p>① ゆりかごなどの体を揺らす運動遊びに取り組む。</p> <p>② 体を支える感覚を養うためにかえるの逆立ち運動遊びに取り組む。</p> <p>③ 傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくする。</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. スモールステップ①前転</p> <p>① ゆりかごなどの体を揺らす運動遊びに取り組む。</p> <p>② 体を支える感覚を養うためにかえるの逆立ち運動遊びに取り組む。</p> <p>③ 傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくする。</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. スモールステップ②マットの上に細いマットを重ねた易しい場での開脚前転</p> <p>① はじめの段階では、膝が曲がっていても指摘はせず、開脚した後「手とかかとを同時に着いた後、肩を前に出している」ことで起き上がるタイミングをつかむことを大切にすること。</p> <p>② 開脚して起き上がる動作に慣れてきたところで「膝を伸ばすときれいだよ」と声をかける。</p> <p>③ ①②が少しずつできるようになってきたところで、重ねていたマットの枚数を1枚少なくしていく。</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. スモールステップ②マットの上に細いマットを重ねた易しい場での開脚前転</p> <p>① はじめの段階では、膝が曲がっていても指摘はせず、開脚した後「手とかかとを同時に着いた後、肩を前に出している」ことで起き上がるタイミングをつかむことを大切にすること。</p> <p>② 開脚して起き上がる動作に慣れてきたところで「膝を伸ばすときれいだよ」と声をかける。</p> <p>③ ①②が少しずつできるようになってきたところで、重ねていたマットの枚数を1枚少なくしていく。</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. スモールステップ③回転加速を上げるための練習</p> <p>膝を伸ばしたまま足を左右に大きく開く瞬間足に挟んだ赤白帽子が前に勢いよく飛んでいくようにする。</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. スモールステップ③回転加速を上げるための練習</p> <p>膝を伸ばしたまま足を左右に大きく開く瞬間足に挟んだ赤白帽子が前に勢いよく飛んでいくようにする。</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. 本時のめあての提示</p> <p>3. 個々の能力に合わせて場を選択しての練習</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. 本時のめあての提示</p> <p>3. 個々の能力に合わせて場を選択しての練習</p>
	<p>かかわりあい</p> <p>補助</p> <p>・技を行う児童と反対側に立ち、「まえ～、うしろ～」のリズムに合わせて、ゆりかごを手伝う。</p> <p>声かけ</p> <p>・ゆりかごに合わせて「まえ～、うしろ～」と口伴奏をする。</p>				<p>かかわりあい</p> <p>補助</p> <p>6人1組又は5人1組のグループを作り、A、Dは補助が必要な場合横から肩を支えて前方に押す。Bは手とかかとを同時に着いた後、肩を前に出しているかを見る。Cは斜め前から開脚するタイミングが適正だったかを見る。Eは手袋を取り、実施の準備をする。一人の実施者が終わった後コア技術に対してどうだったかということや改善点等伝え合う。</p> <p>声かけ</p> <p>「せーの!」「開け!!」を全員で言うことで、実施者に動きの留意点を意識させるとともに思い切って取り組む勢いを与えたり、全員で技に向かっている心強さを感じさせたりする。</p>			
	3. 学習のまとめ	3. 学習のまとめ	3. 学習のまとめ	3. 学習のまとめ	3. 学習のまとめ	3. 学習のまとめ	3. 学習のまとめ	3. 学習のまとめ
	4. 振り返り	4. 振り返り	4. 振り返り	4. 振り返り	4. 振り返り	4. 振り返り	4. 振り返り	4. 振り返り
指導上の留意点	<p>コア技術①の獲得を意識する。しゃがんだ姿勢から手で支えながら腰を上げ、体を丸めながら後頭部ー背中ー尻ー足裏の順にマットに接して前方に回転して立ち上がることを意識させる。</p> 		<p>コア技術②の獲得を意識する。手とかかとを同時に着いた後、肩を前に出している。</p> 		<p>かかわりあいの役割分担</p> 		<p>場の設定として、1枚のマットにカラーマットも4枚ずつ用意しておく。</p> <p>コア技術①が達成できていない児童→赤白帽を使った練習</p> <p>コア技術②が達成できていない児童→カラーマットを使った場での練習</p>	
知		② 観察・ICT					② 観察・ICT	① 観察
思			① 観察				① 観察	② 観察
態	④ 観察	③ 観察		① 観察・カード	② 観察・カード			

単元の評価規準

【開脚前転（マット運動）】

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
① 開脚前転の行い方について、言ったり書いたりしている。(知識) ② 両手と後頭部をつきながら腰を高く上げ前方へ回転し、膝を伸ばして足を左右に大きく開き、接地するとともに素早く両手を股の近くに着いて膝を伸ばしたまま開脚立ちをすることができる。(技能)	① 上手くできたところやできなかったところを、学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり、シールを貼ったりして、自己の能力に適した課題を見付けている。(思考・判断) ② 友だちのよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友だちに伝えたり書いたりしている。(表現)	① 開脚前転に進んで取り組もうとしている。(愛好的態度) ② 順番やきまりを守り誰とでも仲よくマット運動をしようとしている。(公正・協力) ③ 場の準備や片付けを友だちと一緒にしようとしている。(責任・参画) ④ 場の安全に気を付けている。(健康・安全)

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

(1) 知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 開脚前転の行い方について、言ったり書いたりしている。	・ 開脚前転の留意点を友だちや教師に詳しく伝えたり、カードに書いたりすることができる。
② 両手と後頭部を着きながら腰を高く上げ前方へ回転し、膝を伸ばして足を左右に大きく開き、接地するとともに素早く両手を股の近くに着いて膝を伸ばしたまま開脚立ちをすることができる。	・ 滑らかな開脚前転を安定して行うことができる。

(2) 思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを、学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり、シールを貼ったりして、自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 上手くできたところやできなかったところを、学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり、シールを貼ったりして、よりよくする行い方を見付けている。
② 友だちのよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友だちに伝えたり、書いたりしている。	・ 友だちのよい動きの特徴を、擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友だちに伝えたり、カードに書いたりしている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 開脚前転に進んで取り組もうとしている。	・ 開脚前転から開脚開脚前転への行い方を試している。
② 順番やきまりを守り誰とでも仲よくマット運動をしようとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく、グループの友だちを励ましたり、応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを友だちと一緒にしようとしている	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく、周囲の安全にも気を配っている。

※ 学習指導要領解説の技の例示とは異なった学年で授業を計画しています。その理由は以下の2点です。

- ① 器械運動の技を系統的・段階的に習得するため。
- ② 器械運動の授業を学年間で偏りなく行うため。